

# 2018年 9月印刷の月 記念式典

## 2018年9月印刷の月 記念式典

一般社団法人 日本印刷産業連合会

### 功労賞、振興賞、特別賞の31氏を表彰 第17回印刷産業環境優良工場表彰 経済産業大臣賞に2工場

#### 「SDGs への対応」テーマに後藤敏彦氏が講演

一般社団法人日本印刷産業連合会が主催する2018年「9月印刷の月」記念式典は、9月12日（水）午後4時30分から東京・紀尾井町のホテルニューオータニ「鶴の間」で開催され、日印産連表彰で印刷功労賞12氏、印刷振興賞18氏、特別賞1団体が表彰された。また、第17回印刷産業環境優良工場表彰では、池田印刷株式会社・京浜島工場、トッパン・フォームズ関西株式会社・大阪桜井工場の2工場が経済産業大臣賞を受賞、アインズ株式会社・本社工場に経済産業省商務情報政策局長賞、日印産連・会長賞5工場、同奨励賞8工場がそれぞれ表彰された。

このあと、午後6時から600名を超す参加を得て懇親会が盛大に開催され、表彰受賞者を囲んで和やかな歓談が繰り広げられた。

これより先、午後3時30分からはサステナビリティ日本フォーラム代表理事の後藤敏彦氏を講師に招き「SDGs への対応～大激変の時代、21世紀型ビジネスモデルの構築に役立たせる～」をテーマに講演会を開催し、印刷産業の成長戦略に繋がる貴重なヒントをいただいた。

記念式典は、全員起立しての国歌斉唱に続き、主催者を代表して金子眞吾会長が、風水害、地震に見舞われた被災者にお見舞いと激励の言葉を贈ったうえで、ご出席のご来賓、会員、関連業界の出席者に御礼を述べた。わが国経済の状況に触れ、「世界の景気拡大の追い風に乗り収益や雇用等の改善が続き、緩やかな回復基調が続いている」との認識を示し、印刷産業の現状については「情報媒体のデジタルシフトによりペーパーメディアが減少する中、IoT、ビッグデータ分析、AIなど新たなテクノロジーが急速

に進展することで経済環境・経営環境が激変している」と述べる一方、「逆に大きなチャンスを迎えている」との考えを表明。「印刷産業はいつの時代でも顧客の課題解決を通じて社会に貢献してきた」とし、「これからも新たなテクノロジーを取り入れ、顧客との信頼関係をさらに強化し、新しい価値を創出することで今まで以上に社会に貢献できる産業になる」と自信を示した。さらに



主催者を代表して挨拶する金子眞吾会長

式典に先立ち開催された講演会に触れ、「後藤敏彦先生に『SDGs』への対応についてお話を頂きました。日本印刷産業連合会は、今期より、『SDGs』

を基軸に印刷産業の果たすべき役割を整理しながら、活動方針である『グランドデザイン』にそった事業活動を充実させていく」と説明。その具体例として、「本年7月にはアジア印刷会議 FAPGA (Forum of Asia Pacific Graphic Arts) を9年ぶりに東京で開催し、アジア各国の印刷市場の動向や新たな印刷技術について情報を共有し、活発な意見交換が行われ、同時期に開催された国際印刷機材展 IGAS2018 では会員 10 団体の皆様と協力して JPEx (Japan Printing Exhibition) ブースを出展し、優れた印刷製品を展示することでわが国印刷産業の実力を広く国内外にアピールすることができた。9月以降にも『印刷と私』エッセイ作文コンテスト、『知財公開フォーラム 2018』など業界内に止まらず一般の方にも参加して頂く多彩な事業を展開し、印刷産業全体の信頼を高めていきたい」と意欲を示した。さらにこれに加え、『グランドデザイン』に定められた印刷産業における“新たな価値の創出”“社会の期待に応える誠実な企業行動”“地球環境への高い配慮”“社会に向けた情報発信の強化”などに繋がる事業を着実かつ積極的に進めていく」と表明。「本日は 30 名の方々と 1 団体が日本印刷産業連合会表彰を受賞されます。また、地球環境に配慮し、工場運営に努力された 16 の工場が『印刷産業環境優良工場表彰』を受賞されます。これからも業界発展のためにご尽力賜りますようお願い申し上げます」とさらなる協力を呼びかけた。

ついで司会者より出席のご来賓が

紹介されたあと、代表して経済産業省商務情報政策局審議官・吉田博史氏が来賓祝辞に立ち、西日本を中心とした7月の豪雨、台風 21 号、北海道胆振東部地震などにより亡くなられた方々に弔意を表すと

ともに、被害に遭われた方々にお見舞いを述べた上で、「関係省庁が一丸となって復旧復興に取り組む」と強力な対応を表明。また、「一日も早い電力の供給に向けて政府一丸となって取り組んでいる」と被災地の窮状に取り組むことを明言した。

さらに本日表彰を受けられる受賞者にお祝いの言葉を述べた上で、「産業構造が激変している中、印刷産業には、地域の地元根差した取り組みを日頃行っているというしっかりと根付いたものを持ちながら様々な産業をお客様とし、そういう中で環境変化に対応されている」とし、「紙の印刷は、減少傾向にあるが、一方でデジタル印刷機によりスピーディーで小ロットの印刷、可変データの印刷、オーダーメイドによる印刷も出てきている。こういう新しい技術を使って工夫をしていくということで、適応領域の幅を広げ、お客様に寄り添ったビジネスに印刷業界がシフトし、新しいサービスも展開できる。また、観光分野、セキュリティ分野など新しい分野に自前の技術を活かしていくという取り組みも行われており、さまざまなデータを使ってマーケティングから印刷までを一貫して受注するような新しい事業領域を展開する企業もある。このように印刷産業で培っ



来賓祝辞・吉田博史経済産業省商務情報政策局審議官

てきた他産業とのつながりによる情報や知識の蓄積、あるいは印刷ならではの技術を結びつけることによって単に印刷だけではなく、コミュニケーションソリューションを提供することが始まっている」と新たな印刷産業の展開を紹介。

経済産業省では Connected Industries という取り組みを推進し、あらゆる産業においてあらゆるデータやもの、事業所と事業所、企業と企業、産業と産業が色々な形でデータを使うことによって新しい付加価値を生んだり、新しいサービスを生み、そして社会課題の解決というものに繋がっていくという考え方で、ご紹介した印刷業界の新しい取り組みは正にこの Connected Industries の取り組みだと思っています。先ほど会長からも『環境変化をチャンスと捉えていく』という力強いお言葉がありました。さらに Connected Industries に向けた取り組みをぜひとも進めていただきたい。中小企業が自社の課題やニーズにあった IT ツールを導入する際にその費用の一部を補助する IT 導入補助金があります。9月12日から11月19日まで第3次募集を行っています。是非ご活用をお考えいただきたい」と支援策をアピール。

## ◆ 印刷功労賞



印刷功労賞受賞者を代表して表彰状を受ける  
二葉製本株式会社・大野亮裕氏



印刷功労賞受賞の諸氏

### 日印産連表彰

続いて、平成 30 年度の日本印刷産業連合会表彰に移り、印刷功労賞、印刷振興賞、特別賞の表彰が行われた。

印刷功労賞には、別掲 12 氏（8 頁）が表彰され、代表して二葉製本株式会社・大野亮裕氏に金子会長より表彰状と記念品が授与された。このあと、壇上で、金子会長を囲んで記念撮影が行われた。

印刷振興賞には、別掲 18 氏（11 頁）が表彰され、2 組に分けて授与式が行われた。8 氏が登壇した第 1 組は、代表して三上伸氏（青森オフセット印刷株式会社）、2 組目は、代表して石本忠廣氏（有限会社イシモト写植）に表彰状と記念品が贈られ、それぞれ金子会長を囲んで記念撮

影が行われた。

各種活動を通じて印刷産業界の地位向上に寄与した個人・団体などに贈られる特別賞は、NPO 法人日本自費出版ネットワークが日本自費出版文化賞の運営などの功績が評価され受賞。川井信良氏が金子会長より表彰状が贈られ記念撮影を行い、日印産連表彰を終えた。

### 今年度の環境優良工場表彰は 16 工場

引続き第 17 回環境優良工場表彰式に移り、今年度は経済産業大臣賞 2 工場、商務情報政策局長賞 1 工場、日印産連会長賞 5 工場、同奨励賞 8 工場の計 16 工場の表彰が行われた。

経済産業大臣賞には、池田印刷株式会社・京浜島工場（代表取締

役社長・池田幸寛氏／取締役製造部部長・岩佐育美氏）とトッパン・フォームズ関西株式会社・大阪桜井工場（代表取締役社長・二橋高弘氏／工場長・笠井信氏）の 2 工場に経済産業大臣賞が経済産業省商務情報政策局コンテンツ産業課長・高木美香氏より賞状と記念品がそれぞれ授与された。高木美香氏を囲んで記念撮影が行われた。

経済産業省商務情報政策局長賞にはアインズ株式会社・本社工場（執行役員 生産カンパニー社長・久泉満氏）が受賞し高木美香氏より賞状と記念品が授与された。この後、記念撮影が行われた。

一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞には、株式会社研文社・尼崎工場（代表取締役会長・網野博氏）、

## ◆ 印刷振興賞



印刷振興賞受賞者 1 組を代表して表彰状を受ける  
三上伸氏（青森オフセット印刷株式会社）



印刷振興賞受賞者 2 組を代表して表彰状を受ける  
石本忠廣氏（有限会社イシモト写植）



特別賞受賞の NPO 法人日本自費出版ネットワーク  
の川井信良氏。金子会長と記念撮影



印刷振興賞受賞 1 組目の諸氏



印刷振興賞受賞 2 組目の諸氏

## ◆ 特別賞



経済産業大臣賞  
池田印刷株式会社・京浜島工場



経済産業大臣賞  
トッパン・フォームズ関西株式会社・大阪桜井工場

東京加工紙株式会社・筑波工場（取締役工場長・吉原宗彦氏）、日本ハイコム株式会社・本社工場（代表取締役・平谷茂政氏）、株式会社石田美術印刷所・本社・第1工場（代表取締役・石田清志氏）、大輪印刷株式会社・本社工場（代表取締役・宍戸伊助氏）の5工場が受賞、代表して日本ハイコム株式会社・平谷茂政氏に金子会長より表彰状が贈られた。このあと記念撮影が行われた。

ついで、奨励賞の一般部門では、NTT印刷株式会社・入間工場（生産本部入間工場長・北崎伸二氏）、株式会社ダイトクコーポレーション・本社工場（代表取締役社長・小畠久志氏）、電算印刷株式会社・本社工場（代表取締役・宮澤徹氏）の3工場、小規模事業所部門では、谷口印刷株式会社（代表取締役立花丈太郎氏）、共栄印刷株式会社（取締役会長・有賀善吉氏）、東京平版株式会社・岩戸町工場（代表取締役社長・佐々木幸太氏）、鈴木製本有限会社・草加工場（代表取締役・鈴木謙一氏）、有限会社日昇（代表取締役・國田大雄氏）の5工場の合計8工場が選ばれ、代表して共栄印刷株式会社の有賀善

吉氏に金子会長より賞状が授与された。金子会長を囲んで記念撮影が行われ、第17回環境優良工場表彰式を終えた。

このあと、受賞者を代表して、印刷功労賞を受賞した二葉製本株式会社顧問・大野亮裕氏が謝辞に立ち、「今日は環境優良工場として16社が表彰されました。しかも経済産業大臣賞が2社。これは17回の歴史でも初めてはないかと思います。そして印刷功労賞ははじめ多くの表彰の栄に浴することができました。私事で恐縮ですが4年前に他界した父も印刷功労賞をいただきました。親子二代、本当に名誉なことでございます。受賞者全員この賞に恥じないよう業界のために一生懸命精進しますので、これまでと変わらずにご厚誼・ご厚情を頂ければ大変ありがたいと思っています」と謝辞を述べ、2018年9月印刷の月の記念式典を終えた。



受賞者代表謝辞・大野亮裕氏



経済産業大臣賞受賞の諸氏  
（高木美香課長を囲んで記念撮影）



経済産業省商務情報政策局長賞  
アインズ株式会社・本社工場



商務情報政策局長賞受賞で記念撮影  
（写真左は高木美香課長）



代表して日印産連会長賞を受ける  
日本ハイコム株式会社・本社工場



奨励賞受賞の8工場



日印産連会長賞の5工場

## 懇親会

600名を超す参加者で賑わう

### SDGs をさらなる目標として社会貢献を

2018年「9月印刷の月」懇親会は、午後6時からご来賓の皆様、表彰受賞者、会員団体及び関連業界からおよそ600名を超す参加のもと盛大に開催された。

司会者より記念式典の無事終了が報告された後、開宴に先立ち、臼田真人副会長が開宴の挨拶に立ち、冒頭、被災地の一日も早い復興を願うスピーチを行ったうえで、表彰受賞者に触れ、「環境優良工場表彰で経済産業大臣賞を受賞した池田印刷は、今回の受賞で全ての賞を獲得しグランドスラムを達成されたということで正に偉業です。これからますます印刷業界の環境対応をリードしていただきたい」と期待を表明した。また、本日の講演を取り上げ、「日印産連でも

2015年に国連のグローバルコンパクトに賛同を表明してからグランドデザインを描き、印刷産業が果たすべき社会的責任、これに基づいたさまざまな事業を展開しています。本日の講演のテーマは正に時宜を得たテーマであったと思います」と挨拶、懇親会の開宴を告げた。

ついで、乾杯の発声に立った一般社団法人日本印刷産業機械工業会会長の宮腰巖氏は、表彰受賞者に敬意とお祝いの言葉を贈ったうえで、「7月に開催されたIGAS2018で、日印産連とコラボして開催したJapan Printing Exhibitionは大変好評をいただきました。印刷産業は激動の中にありますが、多くの企業の皆様が新しい技術開発、新しい付加価値を採そ



開会挨拶・臼田真人副会長

うとご努力されている姿はこの展示会を通して見受けることができました」と挨拶。その後、力強い乾杯を行い歓談に移った。

歓談が続く中、お祝いに駆けつけた海江田万里衆議院議員が挨拶に立ち「これから読書の秋など活字に触れることが多くなります。そんなことを思う時、この印刷の月は大変意義深い」と挨拶。

その後、祝電披露をはさんで、宴もたけなわの午後7時、日印産連会員10団体の会長が登壇、日印産連副会長の櫻井醜氏が閉会の挨拶を述べ2018年「9月印刷の月」の全行事を終了した。



乾杯・宮腰巖氏  
(一般社団法人日本印刷産業機械工業会会長)



お祝いに駆けつけ挨拶する  
海江田万里衆議院議員



閉会挨拶  
櫻井醜副会長